



23年春のオープンを予定している。この電気設備工事を日本電設工業・佐電工・有明電設JVが施工する。

ブル「らくアルミケーブル」を、佐賀県内で建設中のSAGAアリーナで採用することが決まった。官公庁の大型施設では初の受注となる。

らくアルミケーブルは、導体にアルミニウムを採用し、一般的な銅導体ケーブルよりも30〜50%軽く、従来の2分の1の力で簡単に外皮を剥ぎ取れる上に、3分の1の力で曲げられる柔らかさも兼ね備えている。このため使い勝手がよく、延線作業の効率化や省力化を実現する。これまで250件を超える建設現場が採用している。

納入先のSAGAアリーナの規模は、S造4階建て延べ約2万9800平方メートル。20

SAGAアリーナでの採用が決定

古河電工の「らくアルミケーブル」

古河電気工業と古河電工業電線（東京都荒川区、白坂有生社長）が開発・製造し、SFCC（川崎市、黒須光明社長）が販売する電気設備工事の効率化が可能なCVケー

